

令和3年度 春学期
授業評価アンケート結果

令和3年10月11日
滋賀文教短期大学

1. 目次

ページ	内容
1	1. 目次
	2. 授業アンケートについて
2	3. 授業評価アンケート質問項目
3	4. 授業評価アンケート集計結果 (1) 全学
4	(2) 国文学科全体
5	(3) 国文学科1年生
6	(4) 国文学科2年生
7	(5) 子ども学科全体
8	(6) 子ども学科1年生
9	(7) 子ども学科2年生
10	(8) 両学科合同
11	5. 全学的考察 (1) 授業アンケート結果について
12	(2) 授業の質向上のために
	6. 国文学科全体の考察 (1) 授業アンケート結果について
14	(2) 授業の質向上のために
	7. 子ども学科全体の考察 (1) 授業アンケート結果について
15	(2) 授業の質向上のために
16	8. 授業アンケート回答率の推移

2. 授業アンケートについて

■概要

本学では、実習科目を除く全科目の14回目または15回目で約10分程度の時間を設け、授業アンケートを実施している。学生は、学生ポータルサイトからアンケートに無記名式で回答する。

■実施期間

学年暦において14回目または15回目の授業内で実施する。

子ども学科2年生のみ実習の都合で14回目の授業時期が他の学科・学年と異なるため、令和3年8月2日～8月13日に実施し、他の学科・学年は令和3年7月16日～7月29日に実施した。

■授業アンケートの活用

授業アンケートの集計結果（学務課教務担当による集計）、科目レベルの学修成果の査定結果（授業アンケートによる学生の達成実感度と科目GPAによる査定）の主に2点をふまえて、授業検討票に省察を記録する。

本学の科目レベルの査定においては、学生の達成実感度60%以上かつ、科目GPAが2.00から3.00までのときを、望ましい水準とアセスメント・プランに定めている。

これらをふまえて、科目担当教員は授業に関してどのような工夫をすれば学生がより学修成果を獲得できるかを検討し、次年度に向けたシラバス改善案を記録する。

さらに、全科目の授業アンケート結果や授業検討票をもとに、各学科の総評を学科長が、全学的総評をFD委員長が行う。このような取り組みにより、科目レベルだけでなく組織的に授業のさらなる質向上に努めている。

授業アンケートの結果は、概要を本学ホームページで過去3年間分、学生ポータルサイトで自由記述欄以外の数値を公開している。また、授業検討票は閉架式にて学務課教務にて保管し、閲覧希望者に開示している。

3. 授業評価アンケート質問項目

選択式の質問1～8は回答必須とし、自由記述欄である質問9については任意による回答とした。
質問と回答の選択肢を下記に引用する。

1. あなたは、この授業の到達目標がどのくらい達成できましたか。【単一選択式】

シラバス記載の到達目標のうち、関連するディプロマポリシーにおいてカリキュラムマップ上で二重丸がついているものが科目担当教員から学生に1つだけ提示されます。

- ①達成できた ②おおむね達成できた ③達成できなかった

2. 授業内容は興味・関心が持てましたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

3. 授業内容をよく理解できましたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

4. この授業はシラバスに沿った内容でしたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

5. 学生の理解を促す工夫がなされていきましたか。【単一選択式】

(言葉による説明だけでなく、適切な資料、板書等の活用、グループワーク)

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

6. 工夫してほしいと感じたことを選んでください。【複数選択式】

- ①特になし ②分かりやすいパワーポイントや板書 ③教科書・配布資料の活用
④聞き取りやすい話し方 ⑤私語への対応

7. 教員は学生の理解や反応を見ながら授業を進めていましたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

8. あなたは、この授業の予修・復修など自主学修に1週間あたりどのくらいかけましたか。【単一選択式】

※授業に間接的に関係のある学修を含む。学内外を問わず、授業時間以外の時間を回答（ピアノ練習、基礎プロ準備、実習準備等）

- ①3時間以上 ②2時間以上3時間未満 ③1時間以上2時間未満
④30分以上1時間未満 ⑤30分未満

9. あなたがこの授業を受ける中で感じた良かった点や改善してほしい点があれば、記述してください。

(特に記述することが無い場合は空欄のまま問題ありません)

自由記述欄

4- (1). 授業評価アンケート集計結果 (全学)

■回答者の内訳 *延べ数

全学	受講者数	回収数	回収率
合計	2255	1982	87.9%

■回答数と割合

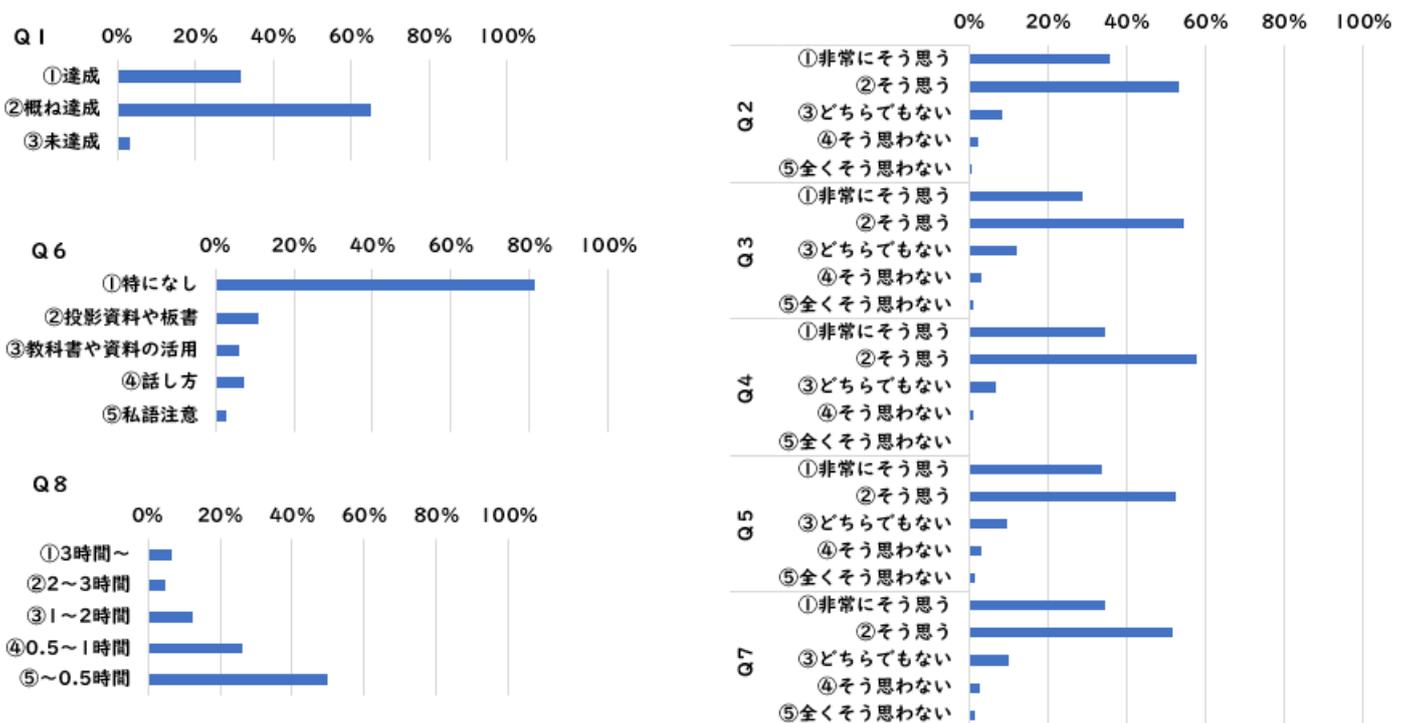
質問	①非常にそう思う		②そう思う		③どちらでもない		④そう思わない		⑤全くそう思わない	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
2. 授業内容に関心が持てた	705	35.6%	1055	53.2%	162	8.2%	45	2.3%	15	0.8%
3. 授業内容が理解できた	570	28.8%	1084	54.7%	242	12.2%	62	3.1%	24	1.2%
4. 授業はシラバスに沿っている	685	34.6%	1142	57.6%	130	6.6%	17	0.9%	8	0.4%
5. 授業に工夫があった	667	33.7%	1036	52.3%	193	9.7%	58	2.9%	28	1.4%
7. 教員が学生の反応をみて授業を進めた	685	34.6%	1023	51.6%	196	9.9%	52	2.6%	26	1.3%

質問	①達成		②概ね達成		③未達成	
1. 到達目標の達成実感度	625	31.5%	1289	65.0%	68	3.4%

質問	①特になし		②投影資料や板書		③教科書や資料の活用		④話し方		⑤私語注意	
6. 授業で工夫してほしいこと	1611	81.3%	219	11.0%	124	6.3%	148	7.5%	52	2.6%

質問	①3時間～		②2～3時間		③1～2時間		④0.5～1時間		⑤～0.5時間	
8. 当該授業に関する授業外学修時間 (週)	131	6.6%	95	4.8%	248	12.5%	519	26.2%	989	49.9%

■回答割合 (グラフ)



* Q6については、複数選択が可能のため、合計が100%にならないことがある。

また掲載スペースの関係上、質問6については図表中で回答選択肢の文言を一部要約して記述する。以下、同様。

4- (2). 授業評価アンケート集計結果 (国文学科全体)

■回答者の内訳 *延べ数 *両学年同時受講の科目は、回答者の所属が不明であるため4- (3)、4- (4) 学年別に算入していない。

国文学科	受講者数	回収数	回収率
1年	285	279	97.9%
2年	270	228	84.4%
1年・2年	20	20	100%
合計	575	527	91.7%

■回答数と割合

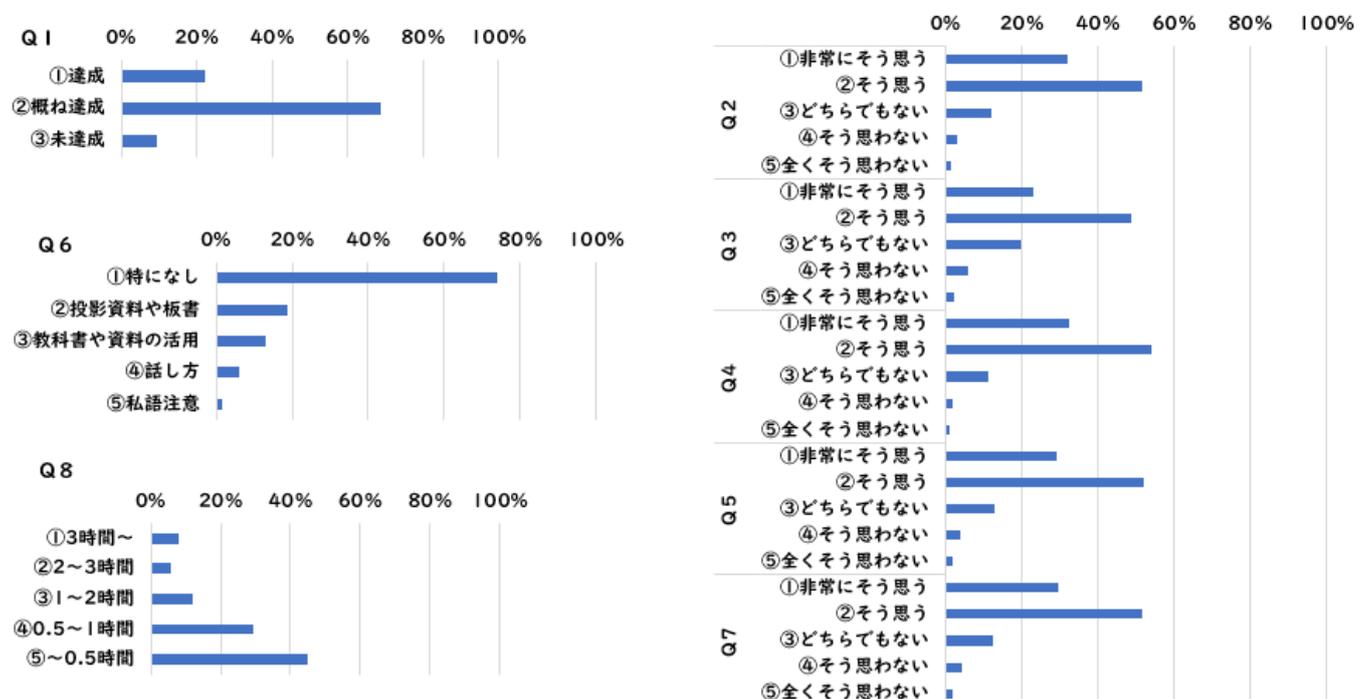
質問	①非常にそう思う		②そう思う		③どちらでもない		④そう思わない		⑤全くそう思わない	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
2. 授業内容に関心が持てた	168	31.9%	272	51.6%	63	12.0%	16	3.0%	8	1.5%
3. 授業内容が理解できた	122	23.1%	258	49.0%	104	19.7%	32	6.1%	11	2.1%
4. 授業はシラバスに沿っている	170	32.3%	284	53.9%	59	11.2%	9	1.7%	5	0.9%
5. 授業に工夫があった	154	29.2%	274	52.0%	68	12.9%	21	4.0%	10	1.9%
7. 教員が学生の反応をみて授業を進めた	157	29.8%	272	51.6%	66	12.5%	22	4.2%	10	1.9%

質問	①達成		②概ね達成		③未達成	
	数	割合	数	割合	数	割合
1. 到達目標の達成実感度	116	22.0%	362	68.7%	49	9.3%

質問	①特になし		②投影資料や板書		③教科書や資料の活用		④話し方		⑤私語注意	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
6. 授業で工夫してほしいこと	389	73.8%	98	18.6%	68	12.9%	33	6.3%	9	1.7%

質問	①3時間～		②2～3時間		③1～2時間		④0.5～1時間		⑤～0.5時間	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
8. 当該授業に関する授業外学修時間 (週)	42	8.0%	30	5.7%	63	12.0%	155	29.4%	237	45.0%

■回答割合 (グラフ)



4 - (3). 授業評価アンケート集計結果 (国文学科1年生)

■回答者の内訳 *延べ数

国文学科	受講者数	回収数	回収率
1年	285	279	97.9%

■回答数と割合

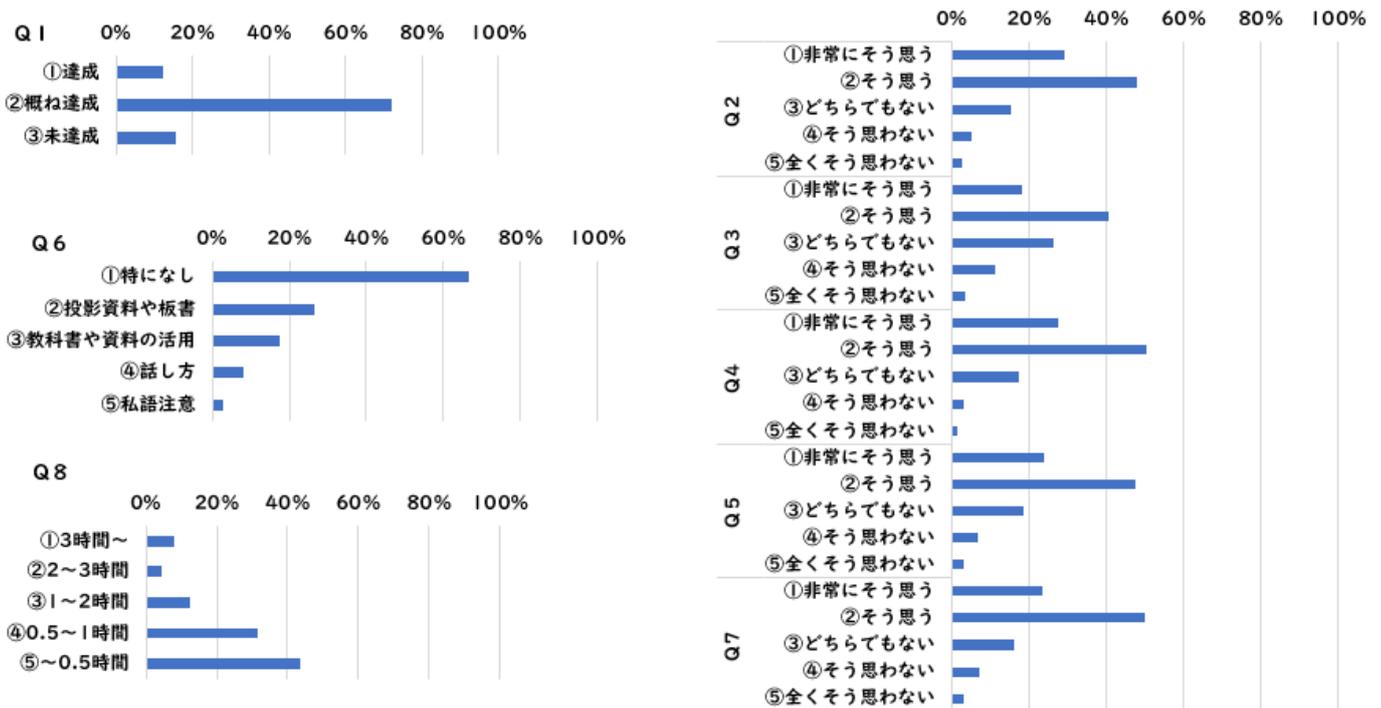
質問	①非常にそう思う		②そう思う		③どちらでもない		④そう思わない		⑤全くそう思わない	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
2. 授業内容に関心が持てた	81	29.0%	134	48.0%	43	15.4%	14	5.0%	7	2.5%
3. 授業内容が理解できた	51	18.3%	113	40.5%	74	26.5%	31	11.1%	10	3.6%
4. 授業はシラバスに沿っている	77	27.6%	141	50.5%	48	17.2%	9	3.2%	4	1.4%
5. 授業に工夫があった	67	24.0%	133	47.7%	52	18.6%	19	6.8%	8	2.9%
7. 教員が学生の反応をみて授業を進めた	66	23.7%	140	50.2%	45	16.1%	20	7.2%	8	2.9%

質問	①達成		②概ね達成		③未達成	
	数	割合	数	割合	数	割合
1. 到達目標の達成実感度	34	12.2%	201	72.0%	44	15.8%

質問	①特になし		②投影資料や板書		③教科書や資料の活用		④話し方		⑤私語注意	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
6. 授業で工夫してほしいこと	186	66.7%	74	26.5%	49	17.6%	23	8.2%	8	2.9%

質問	①3時間～		②2～3時間		③1～2時間		④0.5～1時間		⑤～0.5時間	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
8. 当該授業に関する授業外学修時間 (週)	22	7.9%	12	4.3%	35	12.5%	88	31.5%	122	43.7%

■回答割合 (グラフ)



4 - (4). 授業評価アンケート集計結果 (国文学科2年生)

■回答者の内訳 *延べ数

国文学科	受講者数	回収数	回収率
2年	270	228	84.4%

■回答数と割合

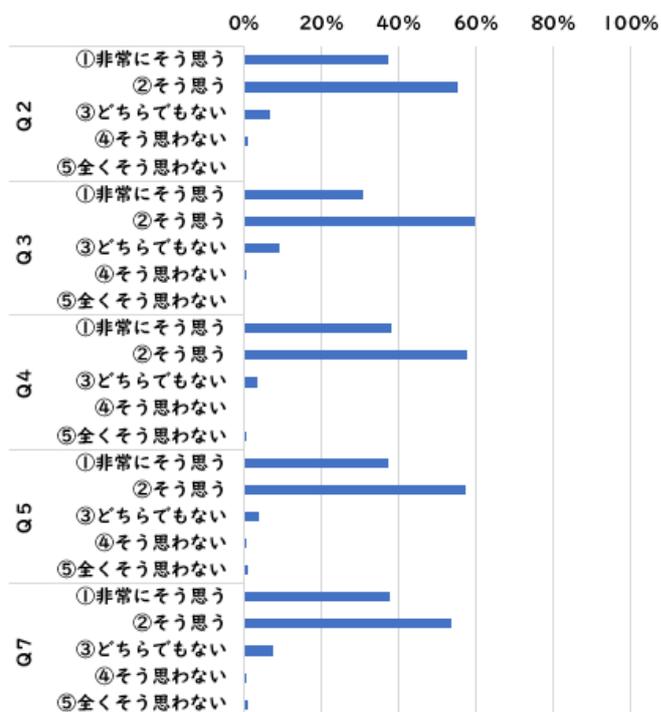
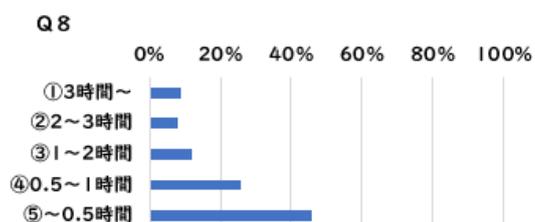
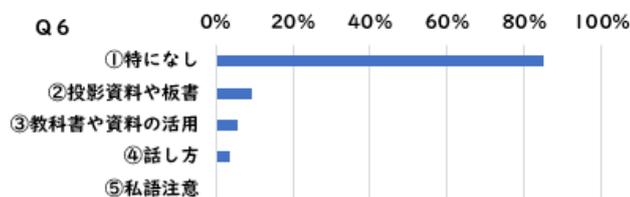
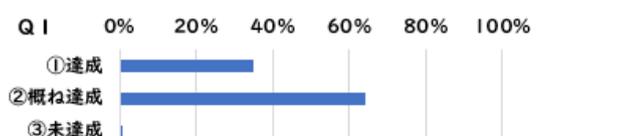
質問	①非常にそう思う		②そう思う		③どちらでもない		④そう思わない		⑤全くそう思わない	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
2. 授業内容に関心が持てた	85	37.3%	126	55.3%	15	6.6%	2	0.9%	0	0%
3. 授業内容が理解できた	70	30.7%	136	59.6%	21	9.2%	1	0.4%	0	0%
4. 授業はシラバスに沿っている	87	38.2%	132	57.9%	8	3.5%	0	0%	1	0.4%
5. 授業に工夫があった	85	37.3%	131	57.5%	9	3.9%	1	0.4%	2	0.9%
7. 教員が学生の反応をみて授業を進めた	86	37.7%	122	53.5%	17	7.5%	1	0.4%	2	0.9%

質問	①達成		②概ね達成		③未達成	
	数	割合	数	割合	数	割合
1. 到達目標の達成実感度	80	35.1%	146	64.0%	2	0.9%

質問	①特になし		②投影資料や板書		③教科書や資料の活用		④話し方		⑤私語注意	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
6. 授業で工夫してほしいこと	194	85.1%	21	9.2%	13	5.7%	8	3.5%	0	0%

質問	①3時間～		②2～3時間		③1～2時間		④0.5～1時間		⑤～0.5時間	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
8. 当該授業に関する授業外学修時間 (週)	20	8.8%	18	7.9%	27	11.8%	59	25.9%	104	45.6%

■回答割合 (グラフ)



4-(5). 授業評価アンケート集計結果 (子ども学科全体)

■回答者の内訳 *延べ数 *両学年同時受講の科目は、回答者の所属が不明であるため4-(6)、4-(7) 学年別に算入していない。

子ども学科	受講者数	回収数	回収率
合計	1628	1413	86.8%

■回答数と割合

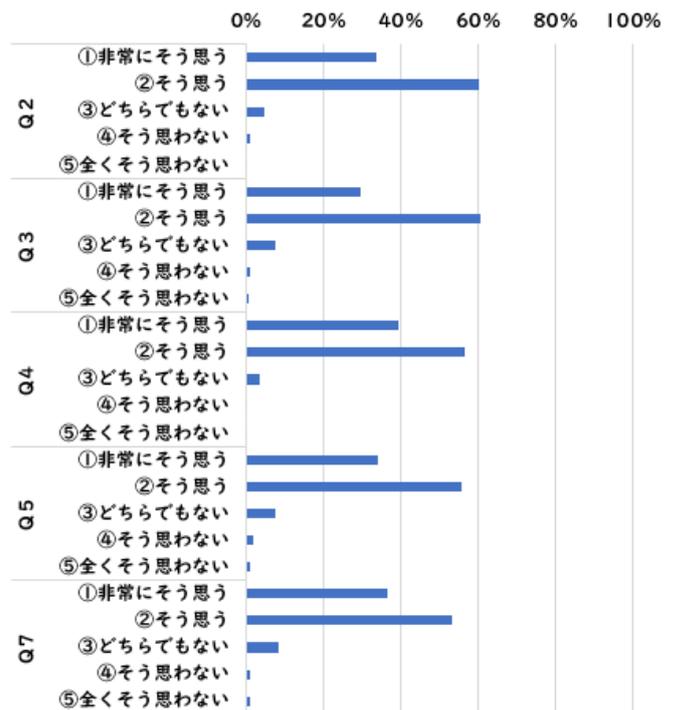
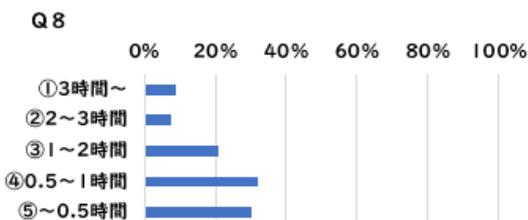
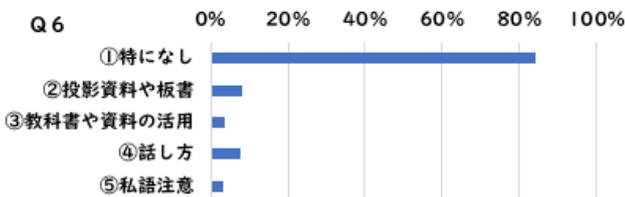
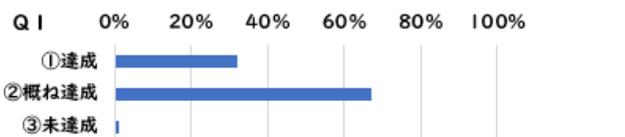
質問	①非常にそう思う		②そう思う		③どちらでもない		④そう思わない		⑤全くそう思わない	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
2. 授業内容に関心が持てた	525	37.2%	759	53.7%	96	6.8%	26	1.8%	7	0.5%
3. 授業内容が理解できた	439	31.1%	801	56.7%	131	9.3%	29	2.1%	13	0.9%
4. 授業はシラバスに沿っている	499	35.3%	833	59.0%	70	5.0%	8	0.6%	3	0.2%
5. 授業に工夫があった	501	35.5%	738	52.2%	121	8.6%	37	2.6%	16	1.1%
7. 教員が学生の反応をみて授業を進めた	517	36.6%	726	51.4%	128	9.1%	28	2.0%	14	1.0%

質問	①達成		②概ね達成		③未達成	
	数	割合	数	割合	数	割合
1. 到達目標の達成実感度	499	35.3%	895	63.3%	19	1.3%

質問	①特になし		②投影資料や板書		③教科書や資料の活用		④話し方		⑤私語注意	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
6. 授業で工夫してほしいこと	1190	84.2%	115	8.1%	53	3.8%	110	7.8%	43	3.0%

質問	①3時間～		②2～3時間		③1～2時間		④0.5～1時間		⑤～0.5時間	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
8. 当該授業に関する授業外学修時間 (週)	88	6.2%	63	4.5%	181	12.8%	350	24.8%	731	51.7%

■回答割合 (グラフ)



4-(6). 授業評価アンケート集計結果 (子ども学科1年生)

■回答者の内訳 *延べ数

子ども学科	受講者数	回収数	回収率
1年生	967	885	91.5%

■回答数と割合

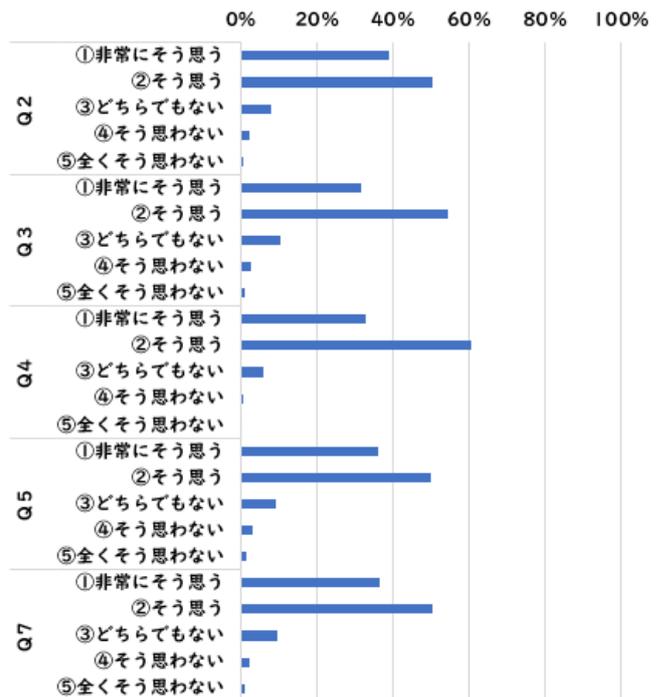
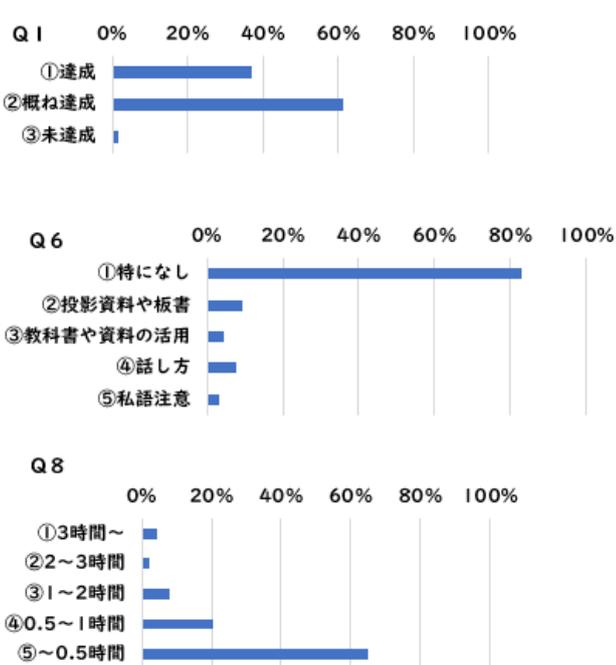
質問	①非常にそう思う		②そう思う		③どちらでもない		④そう思わない		⑤全くそう思わない	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
2. 授業内容に関心が持てた	344	38.9%	446	50.4%	71	8.0%	19	2.1%	5	0.6%
3. 授業内容が理解できた	280	31.6%	483	54.6%	91	10.3%	22	2.5%	9	1.0%
4. 授業はシラバスに沿っている	291	32.9%	535	60.5%	51	5.8%	6	0.7%	2	0.2%
5. 授業に工夫があった	321	36.3%	443	50.1%	83	9.4%	27	3.1%	11	1.2%
7. 教員が学生の反応をみて授業を進めた	325	36.7%	445	50.3%	86	9.7%	21	2.4%	8	0.9%

質問	①達成		②概ね達成		③未達成	
	数	割合	数	割合	数	割合
1. 到達目標の達成実感度	328	37.1%	543	61.4%	14	1.6%

質問	①特になし		②投影資料や板書		③教科書や資料の活用		④話し方		⑤私語注意	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
6. 授業で工夫してほしいこと	734	82.9%	84	9.5%	39	4.4%	70	7.9%	29	3.3%

質問	①3時間～		②2～3時間		③1～2時間		④0.5～1時間		⑤～0.5時間	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
8. 当該授業に関する授業外学修時間 (週)	39	4.4%	20	2.3%	71	8.0%	180	20.3%	575	65.0%

■回答割合 (グラフ)



4-(7). 授業評価アンケート集計結果 (子ども学科2年生)

■回答者の内訳 *延べ数

子ども学科	受講者数	回収数	回収率
2年生	619	503	81.3%

■回答数と割合

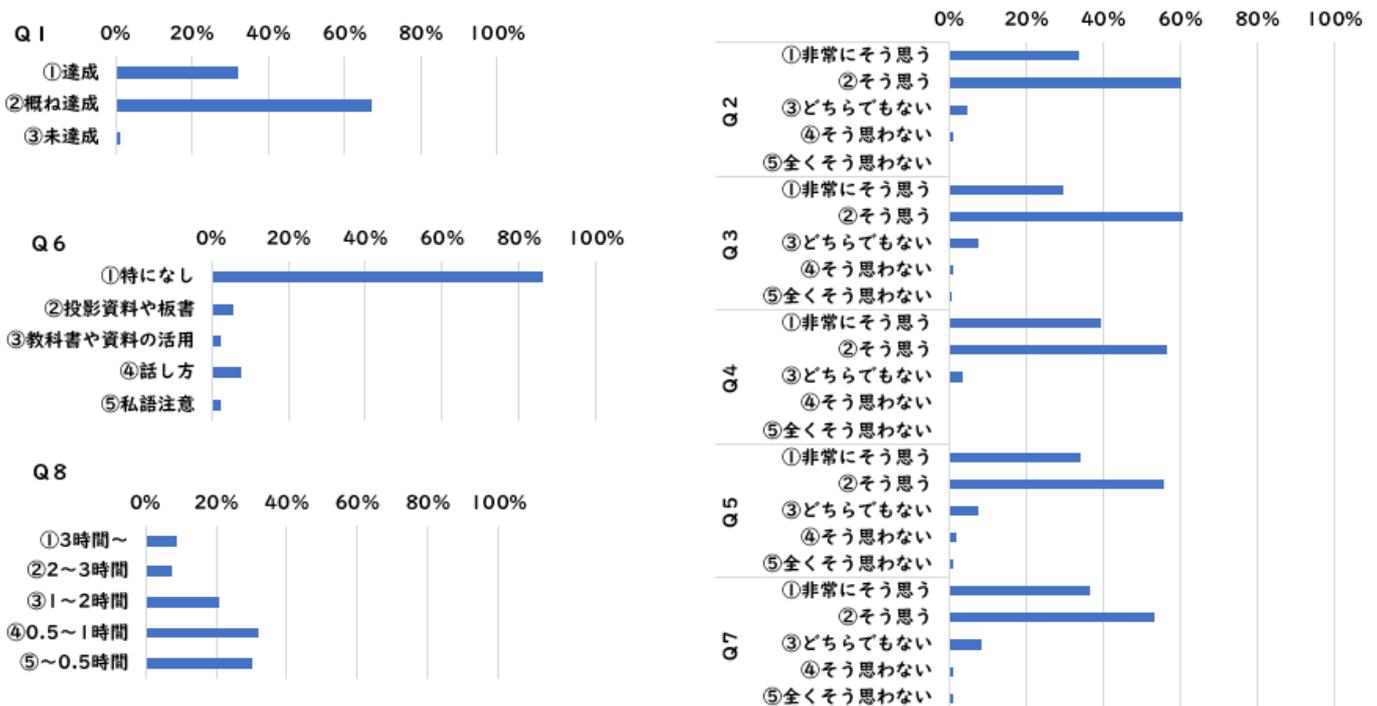
質問	①非常にそう思う		②そう思う		③どちらでもない		④そう思わない		⑤全くそう思わない	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
2. 授業内容に関心が持てた	169	33.6%	302	60.0%	24	4.8%	6	1.2%	2	0.4%
3. 授業内容が理解できた	149	29.6%	305	60.6%	39	7.8%	6	1.2%	4	0.8%
4. 授業はシラバスに沿っている	198	39.4%	285	56.7%	18	3.6%	1	0.2%	1	0.2%
5. 授業に工夫があった	172	34.2%	280	55.7%	37	7.4%	9	1.8%	5	1.0%
7. 教員が学生の反応をみて授業を進めた	183	36.4%	267	53.1%	42	8.3%	5	1.0%	6	1.2%

質問	①達成		②概ね達成		③未達成	
	数	割合	数	割合	数	割合
1. 到達目標の達成実感度	161	32.0%	337	67.0%	5	1.0%

質問	①特になし		②投影資料や板書		③教科書や資料の活用		④話し方		⑤私語注意	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
6. 授業で工夫してほしいこと	434	86.3%	29	5.8%	12	2.4%	38	7.6%	12	2.4%

質問	①3時間～		②2～3時間		③1～2時間		④0.5～1時間		⑤～0.5時間	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
8. 当該授業に関する授業外学修時間 (週)	45	8.9%	38	7.6%	105	20.9%	162	32.2%	153	30.4%

■回答割合 (グラフ)



4-(8). 授業評価アンケート集計結果 (両学科合同)

回答者の内訳 *延べ数

学科合同	受講者数	回収数	回収率
合計	52	42	80.8%

■回答数と割合

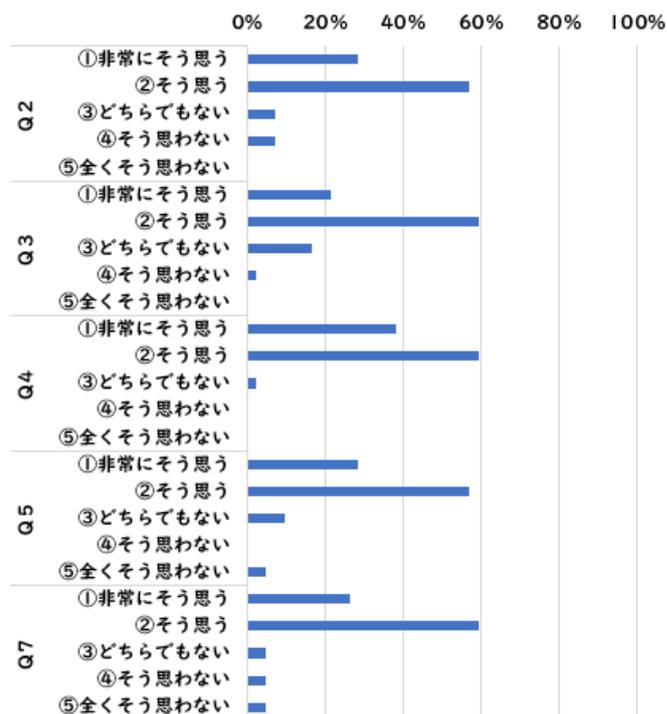
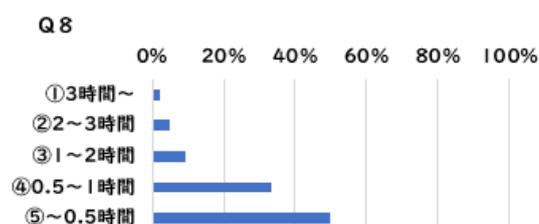
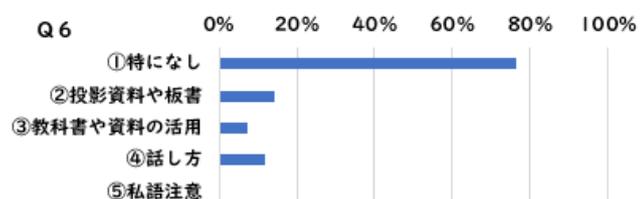
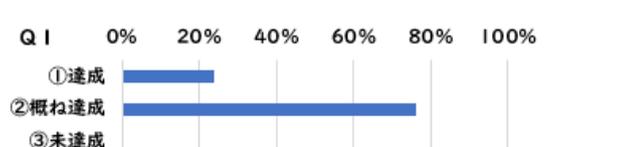
質問	①非常にそう思う		②そう思う		③どちらでもない		④そう思わない		⑤全くそう思わない	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
2. 授業内容に関心が持てた	12	28.6%	24	57.1%	3	7.1%	3	7.1%	0	0%
3. 授業内容が理解できた	9	21.4%	25	59.5%	7	16.7%	1	2.4%	0	0%
4. 授業はシラバスに沿っている	16	38.1%	25	59.5%	1	2.4%	0	0%	0	0%
5. 授業に工夫があった	12	28.6%	24	57.1%	4	9.5%	0	0%	2	4.8%
7. 教員が学生の反応をみて授業を進めた	11	26.2%	25	59.5%	2	4.8%	2	4.8%	2	4.8%

質問	①達成		②概ね達成		③未達成	
	数	割合	数	割合	数	割合
1. 到達目標の達成実感度	10	23.8%	32	76.2%	0	0%

質問	①特になし		②投影資料や板書		③教科書や資料の活用		④話し方		⑤私語注意	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
6. 授業で工夫してほしいこと	32	76.2%	6	14.3%	3	7.1%	5	11.9%	0	0%

質問	①3時間～		②2～3時間		③1～2時間		④0.5～1時間		⑤～0.5時間	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
8. 当該授業に関する授業外学修時間 (週)	1	2.4%	2	4.8%	4	9.5%	14	33.3%	21	50.0%

■回答割合 (グラフ)



5 - (1). 全学的考察 (授業アンケート結果について)

今期も昨年度と同様、8項目の授業アンケートと自由記述を行った。ここでは、その中の5項目のアンケート結果を中心に考察する。

質問項目 (1) あなたは、この授業の到達目標がどのくらい達成できましたか。

	達成できた	おおむね達成できた	合計
令和2年度春学期	33.9%	63.7%	97.6%
令和2年度秋学期	23.2%	74.4%	97.6%
令和3年度春学期	31.5%	65.0%	96.5%

「達成できた」と回答した学生は、昨年度と比較すると、春学期からは2.4ポイント減少したが、秋学期からは8.3ポイント増加した。また、「達成できた」「おおむね達成できた」と回答した学生の合計は、昨年度春学期、秋学期から1.1ポイント減少したものの、96.5%と高い水準を維持している。このことは、質問項目(2)と関連し、学生が到達目標を達成するために意欲的に学んでいることを反映していると考えられる。

質問項目 (2) 授業内容は興味・関心が持てましたか。

	非常にそう思う	そう思う	合計
令和2年度春学期	36.1%	54.2%	90.3%
令和2年度秋学期	26.9%	61.6%	88.5%
令和3年度春学期	35.6%	53.2%	88.8%

「非常にそう思う」と回答した学生は、昨年度同期と比較すると0.5ポイント減少したが、秋学期からは8.7ポイント増加した。春学期と秋学期とでは授業科目・授業内容が異なるため、興味・関心は一概に比較できないが、「非常にそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計は、昨年度秋学期よりも0.3ポイント増加している。今期は対面授業が実施でき、約9割の学生が興味・関心を持って授業に参加することができた。

質問項目 (3) 授業内容をよく理解できましたか。

	非常にそう思う	そう思う	合計
令和2年度春学期	28.0%	58.7%	86.7%
令和2年度秋学期	20.3%	68.7%	89.0%
令和3年度春学期	28.8%	54.7%	83.5%

「非常にそう思う」と回答した学生は28.8%で、令和に入って最も高い数値を示しており、学修への意欲が高い学生は、授業内容の理解も高まったと考える。しかし、「非常にそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計は、昨年度同期よりも3.2ポイント、秋学期よりも5.5ポイント減少した。

質問項目 (5) 学生の理解を促す工夫がなされていましたか。(言葉による説明だけでなく、適切な資料、板書等の活用、グループワーク)

	非常にそう思う	そう思う	合計
令和2年度春学期	37.0%	53.4%	90.4%
令和2年度秋学期	27.8%	63.8%	91.6%
令和3年度春学期	33.7%	52.3%	86.0%

「非常にそう思う」と回答した学生は、昨年度秋学期よりも5.9ポイント増加した。しかし、昨年度同期よりも3.3ポイント減少し、「非常にそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計では、直近の3期の中で、最も低い数値となった。質問項目(6)工夫してほしいことを問う質問に対しては、「聞き取りやすい話し方」と回答し

た学生が 7.5%（昨年度秋学期より+1.7 ポイント）、「分かりやすいパワーポイントや板書」と回答した学生が 11.0%（昨年度秋学期より+4.9 ポイント）と、昨年度秋学期より増加している。このことは、質問項目（3）の授業内容の理解と関係している可能性も考えられる。

質問項目（8）あなたは、この授業の予修・復修など自主学修に1週間あたりどのくらいかけましたか。

※授業に間接的に関係のある学修を含む。学内外を問わず、授業時間以外の時間を回答（例 ピアノ練習、基礎プロ準備、実習準備等）

1. 3時間以上 2. 2時間以上3時間未満 3. 1時間以上2時間未満 4. 30分以上1時間未満 5. 30分未満

	1	2	3	4	5
令和2年度春学期	8.9%	8.1%	21.4%	23.4%	38.3%
令和2年度秋学期	7.8%	7.9%	23.4%	29.7%	31.2%
令和3年度春学期	6.6%	4.8%	12.5%	26.2%	49.9%

「1時間以上」自主学修をしたと回答した学生が計 23.9%と低く、「30分未満」と回答した学生が 49.9%と半数に上った。今期は対面授業で、5時限終了は17時45分となる。学生が帰宅する時間は様々ではあるが、帰宅後に予修・復修をする時間は限られており、遠隔授業よりも自主学修の時間が減った理由の一つとして考えられるかもしれない。しかしながら、対面授業を実施した昨年度同期より、「30分未満」と回答した学生が 11.6 ポイント増加しており、反転授業の実施や予修・復修に係る課題の与え方を工夫するなど、家庭での学修習慣の定着に向けた取り組みが求められる。

5-（2）. 全学的考察（授業の質向上のために）

今期は、コロナ禍での対面授業で、感染対策を徹底しながら授業を実施してきた。例えば、グループワークの際には、学生間の距離や密を避けるための場を工夫したり、反転授業を実施したりするなど、コロナ禍における授業改善、アクティブ・ラーニングの推進を行ってきた。学生の学修への意欲や目標の達成、授業内容の理解の数値からは、授業の内容が満足のいくものに近いと捉えることができる。

しかし、1週間あたりの自主学修時間については、約半数が 30分未満と回答しており大きな課題である。要因は、個々の学生によって違うと考えられるため、面談等学生とのコミュニケーションを通して、具体的な方策を学生自身が見出し学修に意欲的に取り組めるよう、きめ細かい支援が必要であると考えられる。また、予修・復修の与え方についても工夫をし、授業に結びつき成果を実感できる自主学修となるよう改善していくことが求められる。

今後も、コロナ禍における対面授業、遠隔授業の工夫改善が必要であることから、教員の研修を計画的に実施し、学生が能動的に学ぶことができる授業の構築をめざして、大学全体として授業の質の向上を図っていきたい。

6-（1）. 国文学科全体の考察（授業アンケート結果について）

質問項目（3）「授業内容をよく理解できましたか」について、「非常にそう思う」「そう思う」および両者の合計を過去4年間の同時期と比べると次のようになる。

【表1】	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
平成29年度春学期	28.1%	45.0%	73.1%
平成30年度春学期	22.9%	45.7%	68.6%
令和元年度春学期	14.0%	59.0%	73.0%
令和2年度春学期	22.5%	61.4%	83.9%
令和3年度春学期	23.1%	49.0%	72.1%

昨年度と比較すると、「非常にそう思う」は微増しているが、「そう思う」は10%以上減少している。昨年度は

5年間のうちで最も両者の合計が高い数値を示したのに対し、今年度は平均的な数値に収まっている。

同じ項目の学年ごとの違いは以下の通りである。

【表2】	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
1年生	18.3%	40.5%	58.8%
2年生	30.7%	59.6%	90.3%

昨年度と同じデータは次の通りである。

【表3】	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
1年生	26.0%	62.1%	88.1%
2年生	14.6%	59.9%	74.5%

上のふたつのデータ（【表2】【表3】）を比較すると、昨年度データより今年度の方が1年生と2年生の著しい違いが看取される。【表3】の1年生と【表2】の2年生は同一集団であり、大きな変化は見られない。この学年は授業内容の理解について一貫して90%前後が「非常にそう思う」「そう思う」と回答しており、高い理解度（自己評価）を示している。それに対し今年度1年生は60%弱と非常に低い理解度（自己評価）である。これは入学年度による学生の質的な違いと考えられる。

質問項目（8）の学習時間について、学年ごとの集計は以下の通りである。

【表4】	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満
1年生	7.9%	4.3%	12.5%	31.5%	43.7%
2年生	8.8%	7.9%	11.8%	25.9%	45.6%

このデータでは、学習時間に1年生と2年生との大きな違いは見られず、理解度と学習時間との明らかな相関関係は見受けられなかった。

本年度および過去2年の1年生の学習時間は以下の通りである。

【表5】	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満
令和1年度1年生	3.0%	6.0%	12.0%	31.0%	48.0%
令和2年度1年生	0.8%	4.5%	16.7%	31.6%	46.3%
令和3年度1年生	7.9%	4.3%	12.5%	31.5%	43.7%

3年間のデータを見る限りでは、3時間以上の学習時間については本年度1年生が最も高く、30分未満については同じく本年度がもっとも低い。学習時間が比較的多いにもかかわらず、理解度が低いと自己認識しているわけであり、今後さらなる分析と対応が必要である。

同じく本年度および過去2年の2年生の学習時間は以下の通りである。

【表6】	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満
令和1年度2年生	6.0%	9.0%	15.0%	23.0%	48.0%
令和2年度2年生	2.5%	7.0%	12.7%	29.3%	48.4%
令和3年度2年生	8.8%	7.9%	11.8%	25.9%	45.6%

2年生についても1年生と同じく、本年度が最も3時間以上の学習の数値が高く、30分未満の数値が低い。

学習時間についてはこの数年おおむね増加している。これについては、事前準備が必要な授業が多くなり、授業外での学習習慣が定着してきているためであると見ている。昨年度1年生はイレギュラーな数値であり、本年度2年になって大幅に改善されている。昨年春学期において1年生がイレギュラーな数値を示したことについて詳細は昨年度の考察を参照されたいが、昨年はコロナ禍の1年目であり、5月後半まで授業が行えなかったことや入学前教育のフィードバックも不十分だったため、学習習慣の定着が十分でなかったことが大きかったと考え

ている。その後1年間の学びのなかで学習習慣が定着したことなどから、1年次に比べ2年次に学習時間が大幅に伸びたのだと考えられる。

なお、本年度春学期はコロナ禍においてではあるがすべての授業を対面形式で行うことができた。昨年度と大きく違うのは配慮申請を行った学生向けに対面授業をリアルタイムで配信し、さらに録画も行うというハイフレックス形式の授業を行った点である。対面で受けた学生と遠隔で受けた学生とを分けてアンケートをとることはしていないため、同一授業を対面で受講したか遠隔かで理解度その他違いがあるのかは不明である。

6-(2). 国文学科全体の考察 (授業の質向上のために)

学習習慣の定着については、地味ではあるが着実に定着してきていると評価している。それは学習時間の伸びから看取することができる。しかし授業外での学習時間について増加させることを目標としてきたが、ある程度定着してきたことを踏まえ、次の段階として時間数ではなく質的転換をはかるべきであろう。そのためには①学習のインセンティブを学生に提供し、学生自ら学習のモチベーションを上げられるような学習指導を行えるよう学科として取り組まねばならない。また②特に学習意欲や学力の高い学生に対し、より高次の学習(授業外学習)が行えるよう支援する枠組みをつくらなければならない。

また、6-(1)で見たように、入学年度による学生の質的な違いがあるとすれば、それに合った授業を行い学習支援や指導を行うことが重要である。個々人への対応とともに、学年という集団に合った対応を十分に考慮することが授業の質向上に必要である。

アクティブ・ラーニング、サービスラーニング、フィールドワーク、ICTの活用といった授業方法の工夫については学科において情報共有や意見交換が行われており、導入・運営もなされているが、質をより向上させるためには学科教員が共同で授業研究を続ける必要がある。

7-(1). 子ども学科全体の考察 (授業アンケート結果について)

質問項目2、質問項目3、質問項目5について、3年間の経緯を比較してみると、次のような結果であった。

質問項目2：授業内容に関心が持てたか

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和元年度春学期	29%	63%	92%
令和2年度春学期	37.4%	54.3%	91.7%
令和3年度春学期	37.2%	53.7%	90.9%

質問項目3：授業内容が理解できた

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和元年度春学期	20%	67%	87%
令和2年度春学期	30.1%	57.6%	87.7%
令和3年度春学期	31.1%	56.7%	87.8%

質問項目5：授業に工夫があった

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和元年度春学期	27%	62%	89%
令和2年度春学期	39.3%	52.1%	91.4%
令和3年度春学期	35.5%	52.2%	87.7%

ここ数年、高い評価を示す結果がでており、授業内容への関心が高く、意欲的に学ぼうとする姿勢が見られる。

理解もよくできていると評価できる。

春学期は、新型コロナウイルスへの対応で、対面授業はできたものの、グループワークや体験活動が制限され、本来計画していた授業が十分にできない状況があった。どうしても講義形式の授業が多い中で、学生にとってはストレスのたまる日々も続いたように思われる。

そうした中で、授業への興味・関心を失わず、理解についても、高い数値を示していること、また「授業に工夫があった」についても9割近い数値を示していることは、教員の授業に対する工夫や努力が評価されたと考えられる。

具体的には、本年度も、学科目標に「授業の質の向上」を掲げ、教員が授業に対して創意工夫のある取組みを推進していることや平成27年度よりアクティブ・ラーニングを取り入れた授業の推進を改善の観点として取り組んできていること、FD研修の一環として、授業実践の交流や研修会での事例発表等を行ってきたことがあげられる。

次に、「当該授業に関する授業外学修時間(週)」について、3年間の経緯を比較してみると、次のような結果であった。

質問項目8：当該授業に関する授業外学修時間(週)

	3時間以上	2時間以上～3時間未満	1時間以上～2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満
令和元年度 春学期	8%	6%	15%	27%	44%
令和2年度 春学期	12.7%	9.8%	24.5%	19.7%	33.4%
令和3年度 春学期	6.2%	4.5%	12.8%	24.8%	51.7%

1週間あたりの自主学修の時間は、かなり低下している。昨年の春学期が、一昨年よりかなり上昇したが、今年度は一昨年度並みに戻ったともいえる。これは、昨年は遠隔授業が取り入れられ、レポートや課題の作成が求められたことにより、家庭での学習時間が必然的に増加したことも要因の一つと考えられる。本年度は、登校しての対面授業が実施できたことから、昨年度と単純に比較することができないところがある。

ただ、30分未満の学生が半数以上という結果は、大きな課題である。遠隔授業であっても対面授業であっても、課題に対して自分で調べたり、考えたりして、答えていくことが自主的な学びの姿勢につながるものであり、今後の学生の学びの姿勢として指導していきたい。

7-(2). 子ども学科全体の考察(授業の質向上のために)

授業の質的な向上に向けた取組みの成果は、少しずつであるが着実に出てきている。それは、学生の学びの姿勢にも表れてきている。PROGや教学IRの学修成果の査定の結果をもとに、学生に力をつけていくためには、授業をどのようにしていけばよいのかを考えてきたことも成果として出ていると考えている。今後も引き続き、学科として、「授業の質の向上」の取組みを進め、今まで推進してきたアクティブ・ラーニングを取り入れた授業実践を進めていきたい。

新型コロナウイルスの対応は今後も続くと予想される。対面授業における工夫やオンライン授業・オンデマンド授業等への対応が求められる。単に機器を使いこなすだけでなく、効果的な活用をすることで、授業の質を高められるように、また、学生自らが情報機器を活用して学んでいけるように工夫をしていく必要がある。研修の機会を充実して、ICTを活用し、より効果的でわかりやすく、情報処理能力が向上するような授業を進めていきたい。

学修時間の向上についても、Googleのclassroomやmeetを活用したり、課題の与え方を工夫したりし、自主的な学修の習慣形成ができるようにしていきたい。

8. 授業アンケート回答率の推移

本学では、平成 30(2018)年度まで紙媒体で実施していた授業アンケートについて、令和元(2019)年度より電子媒体である学生ポータルサイト (Campus Plan portal) を利用している。

本学では授業アンケートは無記名式の回答であるため、学生への授業アンケート回答の催促はしていない。

今学期と過去 3 年間について、回答率の推移を学科・学年別に比較する。

		国文学科		子ども学科		両学科合同		全学	
		回収率	回収/受講	回収率	回収/受講	回収率	回収/受講	回収率	回収/受講
紙媒体	平成 30 年度春学期	96.5%	1084/1123	97.3%	2402/2469	/		99.7%	3580/3592
	平成 30 年度秋学期	91.3%	647/709	82.6%	1269/1536			85.4%	2245/1916
電子媒体	令和元年度春学期	89.1%	452/507	81.3%	959/1180			83.6%	1411/1687
	令和元年度秋学期	86.0%	442/514	88.6%	952/1074			87.8%	1394/1588
	令和 2 年度春学期	85.9%	511/595	89.6%	1097/1224			87.0%	1669/1918
	令和 2 年度秋学期	76.1%	388/510	83.2%	939/1129			81.0%	1327/1639
	令和 3 年度春学期	91.7%	527/575	86.8%	1413/1628			80.8%	42/52
平均・合計		89.4%	4051/4533	88.2%	9031/10240	80.8%	45/52	93.2%	13608/14595

今学期は比較的高い回収率となった。翌学期以降も授業アンケートは実施予定である。まず学生の声を聴き、授業改善について検討する材料を十分集められるよう回収率の向上にも引き続き努めていく。

以上